

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

第2回目 6月30日 9:40 ~ 10:40

康保会乳児保育所

1. 活動のテーマ

テーマ

・あおぞらひろば(屋上)で影遊び

テーマの設定理由

外遊びの際に地面に映る影を不思議そうに見たり触ろうとしていた為、いろいろな影を見てどのような興味関心を示すか。

身の回りの不思議な現象に興味関心を持ち始める時期なので、「光」「影」といった視覚的な変化に驚きや喜びを感じながら、楽しんで探究心や表現力を身に付けていく。

2. 活動スケジュール

前は雨天の為、場所を屋上から室内に変更し6名で光遊びをおこなった。とても楽しむ様子が見られた為、多くの子ども達に体験してもらおう今回は対象人数を増やし2歳児42名が4ループに分かれ順番に行う事にする。屋上で自分の体や、様々な形のボール紙を持ち影を作る。

雨天や暑さ指数が高い場合は室内に変更し、懐中電灯で身近な玩具に様々な角度から光を当てて壁に影を映したり、カラーセロハンを使用したスタンドグラスに光を当てて壁や床に映る色や絵を楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・普段遊んでいる人形や恐竜の玩具
- ・花や動物などの形に切り抜いたボール紙
- ・型抜きしたボール紙や虫眼鏡にカラーセロハンを貼った物
- ・アニマルライト(紙コップに絵をかいたラップを貼った物)
- ・懐中電灯・テーブル

4. 探求活動の実践

活動の内容

外気温が高い為、屋上では短時間で数名のみ影遊びをおこなった。花や動物などの形のボール紙や色付きの虫メガネを持ち、太陽の光にかざして影を作ってみた。懐中電灯の光と自然光の違いを体験した。

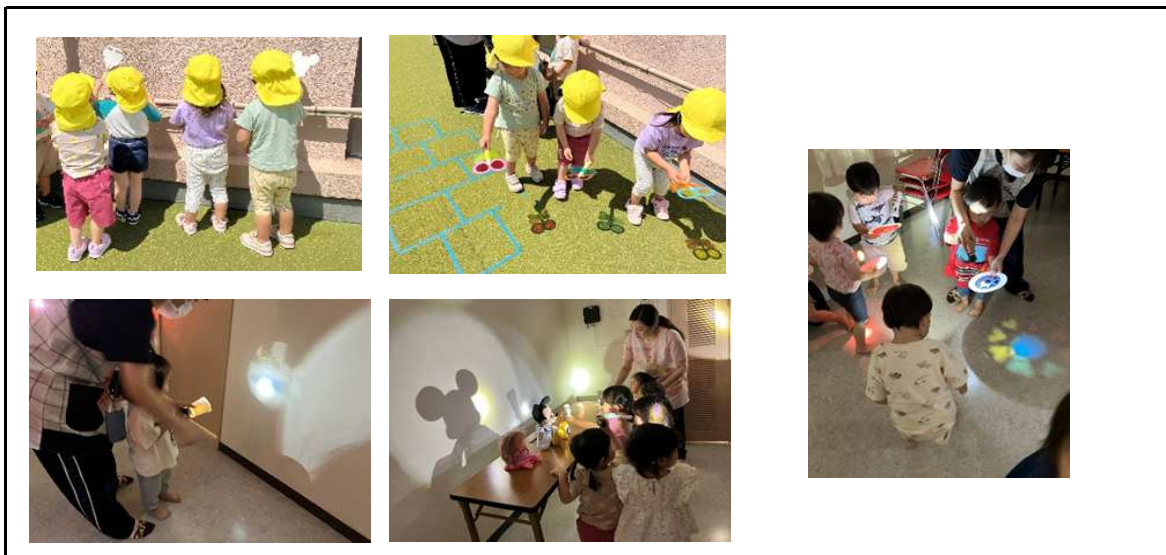
室内ではグループごとに交代で光遊びをおこなった。1人1人懐中電灯を持ち、テーブルに置いてある玩具を様々な角度から光を当てて、壁に影を映してみた。またカラーセロハンを使用したスタンドグラスや虫メガネで色付きの影を作ったり、アニマルライトでも遊んだ。

活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり

屋上に出ると、保育士の「影ができてるね」の声掛けにより自分の影に興味を持ち、手を上げると影も同じように動くという変化を楽しんでいた。またいろいろな形や色付きの造形物を太陽にかざしながら、映っている影の名前をお友だちと言い合うなど共に楽しむ姿が見られた。

室内では電気を消したが、カーテンで光の環境を調節することにより怖がる子はいなかった。懐中電灯に興味を持ち光を天井に当てたり、普段遊んでいる玩具の影をみて「恐竜だー」などと喜ぶ姿が見られた。活動が終わると「またやりたい」と保育士に話す子がたくさんいた。

活動中の様子



5. 振り返り

振り返りによって得た保育士の気づき

・月齢が高い子は懐中電灯を近づけたり遠ざけたりすると影の大きさが変わることを理解し実践していた。また同じ玩具でも光を当てる角度を変えると影の形が変わる事に気づく子もいた。月齢の低い子も懐中電灯の光を壁や天井に当てて喜んだり、自分が動かすと光も動くことを実感し楽しむ姿が見られた。

・テーブルの上にカラーセロハンのスタンドグラスや虫眼鏡、アニマルライト等を並べて自由に好きな物を選べたのは良かった。もう少し低いテーブルだと見やすく選びやすいと感じたので、次回は子どもの身長にあったテーブルを用意する。

・今回の活動を通して、日常の中にある「不思議」や「おもしろさ」に子どもが気づける環境を整えることの大切さを実感したので、今後も気づきや発見を引き出せるような関わりを意識していく。